

## 公の施設指定管理者実績報告(平成21年度)の調査結果について

笠間市行財政改革大綱における主要施策の1つの中で、行政運営の効率化や市民サービスの向上を図るため、民間委託等の実施により効果が期待できる事務事業については、積極的かつ計画的に民間委託や指定管理者制度の活用を推進するとしていることから、平成22年4月現在で、笠間市における公の施設(84施設・給食センター含む)のうち、20施設について指定管理者制度を導入して管理運営を行っています。

この報告は、指定管理者から施設所管課へ提出された平成21年度事業報告書等に基づき、施設所管課で作成された指定管理者実績報告書を取りまとめたものです。

### 1 調査の目的

指定管理者が行っている管理運営が、効果的・効率的であり、市民の利便性の向上が図られているかを点検することにより、今後の管理運営をより適正に継続させるとともに、施設の運営状況を公表することで、管理運営の透明性を確保することを目的としています。

### 2 実績報告の調査結果について

指定管理者導入方針の事業の評価に関する項目に基づいて、実績をまとめています。

#### (1) 運営状況に関すること【有効活用について】

- ・スポーツ施設、北山公園、あたご天狗の森スカイロッジについては、いずれも前年度より利用者増となりました。
- ・笠間クラインガルテンについては、宿泊施設付き市民農園及び日帰り市民農園とも、開園以来、初めて全区画の利用が達成されました。
- ・駐車場施設については、利用者が減少する結果となりました。
- ・福祉施設については、高齢者が利用者の中心となっている施設において、利用者が減少する結果となりました。

#### (2) 事業収支に関すること【効率的運営について】

- ・各施設とも概ね収支のバランスを保ち適正に業務を実施していますが、常に効率的な運営や収入増加につながる事業実施を図る必要があります。
- ・スポーツ施設については、老朽箇所を修繕したため、管理運営経費は増加となりましたが、収支のバランスを考えて計画的に行われました。
- ・笠間市いこいの家「はなさか」については、平成21年度に人件費の削減を行い、効率的な運営が行われました。
- ・笠間クラインガルテンの農産物販売所及びそば処については、外部団体と連携した活動により、売り上げが増加し、収支は改善傾向にあり、農園施設と併せると収支のバランスが取れてきています。

#### (3) 業務実績に関すること【活動状況について】

- ・安定したサービスが提供できている一方で、各施設において、新しいイベントやサービスプラン、外部団体と連携した企画を実施し、利用者の増加につながるような取り組みが行われました。
- ・ホームページの開設や、ホームページでの利用予約の受付を開始するなど、インターネットを利用した情報発信や利便性の向上が図られました。
- ・営業活動範囲の拡大など、積極的なPR活動が行われました。
- ・コスト削減を目的とした省エネタイプの備品への交換等、コスト意識の高い取り組みが行われました。

#### (4) 利用者の声に関すること【利用者の評価について】

- ・ 施設の特性により、アンケートが実施されていない施設もありますが、実施している施設については、利用者の声に応える対応がされ、利便性の向上が図られました。
- ・ 利用者との意見交換会を開催するなど直接利用者の声を収集し、対応可能なものについて、迅速・的確な対応がされました。

#### (5) 施設所管課の総評について

- ・ 各施設とも、厳しい経済情勢が続く中で、概ね安定した管理運営を行うことができました。
- ・ レジャー、スポーツ施設においては、利用者増や収支がプラスとなっており、集客や経営の努力が評価できます。
- ・ 駐車場施設や福祉施設については、経済的な効率性と施設の特性が合わない側面もありますが、市民サービスの向上や効果的な施設運営を図り、指定管理者制度導入の成果を出していく必要があります。
- ・ 利用者が減少傾向にある施設は、潜在的な需要者へのPR方法を考え、新規利用者の確保に努める必要があります。

### 3 その他（モニタリング制度について）

指定管理者による業務について、条例・協定書等に従い適切かつ確実なサービスの提供が確保されているかを確認する手段として、平成20年度からモニタリング制度を導入し、安定的・継続的にサービスを提供しているかを監視しています。

各施設所管課は、定期的な訪問やヒアリング、会議の開催により、管理運営状況を把握し、必要に応じた指導を行っています。また、指定管理者から提出された事業報告書を確認し、年度をとおした管理運営業務を評価し、今後の業務改善方策等を指導しています。

施設所管課に示しているモニタリングに関する指針（手順書）におけるモニタリングチェック表が有効に活用されていない施設があることから、施設の実情に合わせた活用法を確立する必要があります。

今後も指定管理者制度導入の目的につながるモニタリング制度の効果を高め、適正な指定管理者制度の運用を図っていきます。

# 公の施設指定管理者実績調査結果(平成21年度実績)

施設 の 名 称	施設 所 管 課
①笠間市民体育館 ②笠間市岩間総合運動公園 ③笠間市笠間武道館 ④笠間市岩間海洋センター ⑤笠間市総合公園 ⑥石井街区公園	スポーツ振興課
	指 定 管 理 者
	(株) 日立ライフ (公募)
設 置 目 的	指 定 期 間
市民の体育、スポーツの振興を図るとともに、スポーツ以外の各種行事等の利用促進を図ること。	平成20年4月1日から平成25年3月31日まで (平成20年4月1日から導入開始)

運営状況【有効活用について】				指定管理者の事業収支【効率的運営について】					
区 分	20年度	21年度	前年度比 増減率 (%)	区 分	20年度	21年度	前年度比		
					金 額 (円)	金 額 (円)	増減額 (円)	増減率 (%)	
延利用者数	125,407人	135,977人	8.4	(収入)					
市民球場	7,120人	7,095人	△0.4	指定管理料	63,540,000	63,190,000	△350,000	△0.6	
多目的広場	4,106人	5,474人	33.3	利用料等	5,003,937	5,560,365	556,428	11.1	
芝生広場	7,655人	6,980人	△8.8	収 入 計	68,543,937	68,750,365	206,428	0.3	
テニスコート	9,774人	9,734人	△0.4	(支出)					
管理棟会議室	1,218人	865人	△29.0	管理運営経費	63,412,019	68,306,338	4,894,319	7.7	
海洋センター	16,208人	18,268人	12.7	支 出 計	63,412,019	68,306,338	4,894,319	7.7	
海洋センタープール	3,107人	2,272人	△26.9	収 支	5,131,918	444,027	△4,687,891	△91.3	
岩間総合運動公園	19,285人	21,129人	9.6	※利用料金制度導入					
市民体育館	40,609人	47,503人	17.0						
笠間武道館	16,325人	16,657人	2.0						

指定管理者の事業実績・自己評価【活動状況について】
<ul style="list-style-type: none"> <li>・平等で質の高い利用者サービスの向上については、ゴミの無い施設環境に努めることができた。</li> <li>・公園施設の維持管理については、日常点検、定期点検を実施した。</li> <li>・修繕計画については、利用者の安全を最優先に修理に努めた。</li> <li>・災害時、緊急時の対応については、緊急連絡、緊急体制を強化し、避難誘導等の訓練を実施した。</li> <li>・植栽維持管理については、養生期間を設け、芝の部分張替えを実施し、翌年の利用制限を行った。</li> <li>・利用促進については、アンケート実施及びホームページを開設した。</li> <li>・スポーツに関する振興業務については、野球教室、ターゲットボードゴルフ大会の新規イベントを開催した。</li> </ul>

利用者の声【利用者の評価について】
<ul style="list-style-type: none"> <li>・旧テニスコート公園内に設置してある東屋が老朽化により倒壊する恐れがある。⇒東屋の撤去を行った。</li> <li>・市民体育館の電球が切れ施設内が暗い。⇒市民体育館のランプ、水銀灯を全面交換した。</li> <li>・岩間海洋センターのサッカーゴールがサビている。 ⇒岩間海洋センターのサッカーゴールのサビ止め仕上げ塗装を実施した。 その他、石井街区公園遊具施設のサビ止め仕上げ塗装を実施した。</li> <li>・スポーツ教室参加者の要望・意見が多数あった。 (回数増加要望、継続開催要望、保育付教室への感謝、楽しかった旨の感想等) ⇒継続希望が多くあった教室を継続開催した。</li> </ul>

施設 所 管 課 の 総 評	平成22年6月10日評価通知済
施設の維持管理と安全確保に努めており概ね問題ない。 市民へのスポーツ教室をより拡充していくこと。(特に岩間地区)	

施設 の 名 称		施設 所 管 課	
⑦北山公園		商工観光課	
		指 定 管 理 者	
		笠間市造園建設業協同組合（公募）	
設 置 目 的		指 定 期 間	
市民が自然に親しみつつ、観光レクリエーション及びスポーツ活動を行うこと。		平成20年4月1日から平成23年3月31日まで （平成18年9月1日から導入開始）	

運営状況【有効活用について】				指定管理者の事業収支【効率的運営について】				
区 分	20年度	21年度	前年度比	区 分	20年度	21年度	前年度比	
			増減率 (%)		金 額 (円)	金 額 (円)	増減額 (円)	増減率 (%)
延利用者数 (1日平均476人) ※19年度 (116,605人)		212,071人 (1日平均594人)	25.2	(収入)				
				指定管理料	15,600,000	15,600,000	0	0.0
				諸 収 入	392,972	727,652	334,680	85.2
				収 入 計	15,992,972	16,327,652	334,680	2.1
				(支出)				
				管理運営経費	16,482,629	16,271,796	△210,833	△1.3
支 出 計	16,482,629	16,271,796	△210,833	△1.3				
収 支	△489,657	55,856	545,513	△111.4				

指定管理者の事業実績・自己評価【活動状況について】
<ul style="list-style-type: none"> <li>・コスト削減として、警備会社との連絡を電話回線からインターネット回線へ切り替えた。</li> <li>・飲料水の自動販売機を身体障害者の利用にも対応したエコ対策用（省エネタイプ）に交換し、障害者の利便性の向上と消費電力の削減を図った。</li> <li>・前年度から引続き下枝剪定及び落葉拾いを行い、景観形成に配慮し、周辺道路についても常に綺麗な状態を心掛けた。</li> <li>・ゲンジボタルの里づくり実行委員会と交流を行い、共同でビオトープエリアの草刈を実施した。</li> <li>・遊びの寺子屋として、草花の植込み体験と子供祭りを実施した。</li> </ul>

利用者の声【利用者の評価について】
<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理棟（売店側）入口をバリアフリーにしてほしい。 ⇒管理棟入口部にスロープを設置し、その他入口も段差の解消等を行い、ベビーカーや車イスの方の利便性の向上を図った。</li> <li>・水生植物のより良い管理をしてほしい。 ⇒水生植物の移植を行い、より良い開花と維持管理費の削減を図った。また、畔の補修を行い通行可能エリアとした。</li> <li>・桜、湿生植物、紅葉の見ごろなど、デジタル放送・新聞等の広報活動を充実してほしい。 ⇒インターネットにより季節ごとの情報提供を実施し、茨城新聞にも掲載していただいた。また、笠間芸術の森公園での緑化祭に参加しPRを行った。</li> </ul>

施設 所 管 課 の 総 評	平成22年7月28日評価通知済
----------------	-----------------

指定管理者の持つ専門知識や技術を活かし、来園者が公園内で安全かつ満足して利用できるよう高所作業車による危険木等の伐採や水生植物の試験施工を実施した。

また、「北山公園桜まつり」や「都市緑化祭」などイベントへの参加や、ゲンジボタルの里づくり実行委員会との交流など、積極的な協力、支援を行った。今後も、なお一層利用者増を図るため、関係団体と連携し、北山公園の有効活用策を検討しサービスの向上に努めること。

<b>施 設 の 名 称</b>	<b>施 設 所 管 課</b>
⑧笠間市いこいの家「はなさか」	社会福祉課
	<b>指 定 管 理 者</b>
	(社)笠間市社会福祉協議会 (公募)
<b>設 置 目 的</b>	<b>指 定 期 間</b>
住民の健康増進や地域の交流など住民の癒しの場として便宜を総合的に供与し、もって福祉の増進を図ること。	平成20年4月1日から平成23年3月31日まで (平成18年9月1日から導入開始)

運営状況【有効活用について】				指定管理者の事業収支【効率的運営について】			
区 分	20 年度	21 年度	前年度比	区 分	20 年度	21 年度	前年度比
			増減率 (%)		金 額 (円)	金 額 (円)	増減額 (円)
延利用者数	71,435 人 (1日平均242人)	67,732 人 (1日平均230人)	△5.2	(収入)			
				指定管理料	37,850,000	29,550,000	△8,300,000
				利 用 料	28,443,900	26,930,800	△1,513,100
				売店収入等	8,372,372	7,295,127	△1,077,245
				その他収入	1,773,126	0	△1,773,126
				収 入 計	76,439,398	63,775,927	△12,663,471
				(支出)			
				管理運営経費	76,439,398	63,801,165	△12,638,233
				支 出 計	76,439,398	63,801,165	△12,638,233
				収 支	0	△25,238	△25,238
				※利用料金制度導入 ※平成20年度に市からの負担金による備品の修繕と燃料高騰による指定管理料の増額あり			

指定管理者の事業実績・自己評価【活動状況について】
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ポイントカードの発行や市内全域巡回バスの運行を継続し、利用者増を図った。</li> <li>・チラシの全戸配布の実施や情報誌（るるぶ茨城）への掲載による宣伝を行った。</li> </ul>

利用者の声【利用者の評価について】
<ul style="list-style-type: none"> <li>・食堂の味を良くしてほしい。 ⇒食堂業者を変更し、お客様の要望に応えた。お客様同士が心地よく触れ合える場としてサービスを提供していく。</li> </ul>

施 設 所 管 課 の 総 評	平成22年5月14日評価通知済
<p>利用客の減少がみられたが、利用者の声に応じて食堂業者を変更したことは評価できる。また、支配人を中心に、職員の努力が伺えた。今後は更なる市民サービスの提供に努め、安全管理・衛生管理に細心の注意を払うことはもちろんのこと、入浴以外の部分でも特色を持ち、付加価値をつけた事業に取り組み、安定した利用客の確保に努めること。</p> <p>不審者に対するマニュアルが作成されていないので、作成すること。</p>	

<b>施設 の 名 称</b>	<b>施設 所 管 課</b>
⑨あたご天狗の森スカイロッジ	商工観光課
	<b>指 定 管 理 者</b>
	(社) 笠間観光協会 (公募)
<b>設 置 目 的</b>	<b>指 定 期 間</b>
地域住民及び観光レクリエーションの振興に資すること。	平成 19 年 4 月 1 日から平成 24 年 3 月 31 日まで (平成 16 年 4 月 1 日から導入開始)

運営状況【有効活用について】				指定管理者の事業収支【効率的運営について】				
区 分	20 年度	21 年度	前年度比	区 分	20 年度	21 年度	前年度比	
			増減率 (%)		金 額 (円)	金 額 (円)	増減額 (円)	増減率 (%)
延利用者数	9,228 人 (1日平均 25人)	9,538 人 (1日平均 26人)	3.4	(収入)				
				指定管理料	0	0	0	
				利用料・諸収入	28,642,596	30,722,670	2,080,074	7.3
				繰越金	0	193,029	193,029	
				収 入 計	28,642,596	30,915,699	2,273,103	7.9
				(支出)				
				管理運営経費	28,449,567	30,185,352	1,735,785	6.1
				支 出 計	28,449,567	30,185,352	1,735,785	6.1
				収 支	193,029	730,347	537,318	278.4
※利用料金制度導入								

指定管理者の事業実績・自己評価【活動状況について】
<ul style="list-style-type: none"> <li>・笠間観光協会ホームページから予約受付開始 (H21.5.7～)、宿泊プランの企画、ポスティングの実施など、利用者へのサービスや稼働率アップに向けた事業を展開した結果、収入においては目標額 (29,300,000 円) に対し 105.5% (前年比 107.9%)、利用者数については目標値 (9,486 人) に対し 100.5% (前年比 103.4%) となった。</li> <li>・ホームページの予約件数は全体の約 20% を占めた。今後も「おすすめプラン」のページを充実させ、ホームページからの予約増を図っていく。</li> <li>・宿泊プランのなかで 12 月に実施した「クリスマスプラン」の期間中稼働率が 77.1% と、年末年始に並ぶ数値となり、初めての試みながら早めの PR 効果が現れたので、22 年度も早めに企画していく。</li> </ul>

利用者の声【利用者の評価について】
<ul style="list-style-type: none"> <li>・洋式トイレをウォシュレットタイプにしてほしい。</li> <li>・テレビを大きくしてほしい。 ⇒地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業により、トイレ改修工事と地上デジタル対応テレビ (32V型) の設置を行った。</li> </ul>

施設 所 管 課 の 総 評	平成 22 年 7 月 28 日評価通知済
<p>施設の維持管理・運営が適正に行われた。また、ホームページ予約受付開始や新たな企画事業により、売り上げ・利用者数ともに目標数値を達成しており、評価できる。</p> <p>今後、当初の事業計画に基づき地域住民との交流を取り入れた事業なども展開していくこと。</p>	

施設 の 名 称	施設 所 管 課
<b>⑩笠間ラインガルテン</b> (1) 宿泊施設付き市民農園 (4) 農産物加工施設 (2) 日帰り市民農園 (5) 炭焼き施設 (3) クラブハウス (6) その他付随する施設	農政課（農政企画室）
	<b>指 定 管 理 者</b> 茨城中央農業協同組合（非公募）
<b>設 置 目 的</b> 地域住民と観光農業の振興及び市民と都市住民との交流を図ること。	<b>指 定 期 間</b> 平成 21 年 4 月 1 日から平成 23 年 3 月 31 日まで （平成 19 年 4 月 1 日から導入開始）

運営状況【有効活用について】				指定管理者の事業収支【効率的運営について】			
区 分	20 年度	21 年度	前年度比	区 分	20 年度	21 年度	前年度比
			増減率 (%)		金 額 (円)	金 額 (円)	増減額 (円)
農園利用契約者数	99 人	100 人	1.0	(収入)			
〔簡易宿泊施設利用者〕	50 人	50 人		指定管理料	0	0	0
〔日帰り農園利用者〕	49 人	50 人		農園利用料	21,386,001	21,482,788	96,787 0.5
				収 入 計	21,386,001	21,482,788	96,787 0.5
クラブハウス利用状況				(支出)			
クラブハウス利用回数	676 回	647 回	△4.3	管理運営経費	21,327,489	20,076,138	△1,251,351 △5.9
延利用者数	11,102 人 (1日当たり2.2回, 36人)	10,206 人 (1日当たり2.1回, 33人)	△8.1	支 出 計	21,327,489	20,076,138	△1,251,351 △5.9
				収 支	58,512	1,406,650	1,348,138 2304.0
※利用料金制度導入							

指定管理者の事業実績・自己評価【活動状況について】
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 宿泊施設付き市民農園及び日帰り市民農園とも全区画の利用者を確保することが出来た。</li> <li>・ 農園利用者と地域住民との交流促進のため、各種イベントを年間 38 回開催し、延 1,322 人の参加を得た。</li> <li>・ TV 1 件、ラジオ 3 件、書籍・情報誌 10 件、インターネット関係 1 件、合計 15 件について対応し PR 活動に努めた。</li> <li>・ 視察については、52 件(858 人)を受け入れた。</li> <li>・ 麻布十番まつり（東京都港区）に参加し、パンフレット配布・農産物販売を実施し、PR 活動を行った。</li> <li>・ 毎月の運営内容を精査し改善を図るため、市と指定管理者による定例会議を毎月実施した。</li> </ul>

利用者の声【利用者の評価について】
利用者との意見交換会を開催した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生活ゴミを収集してほしい。 ⇒ごく少数意見であることを加味し、生活ゴミは各自持ち帰りという現状方針維持の方向を回答した。</li> <li>・ 施設周辺に道案内の看板を設置してほしい。 ⇒案内看板を設置した。</li> </ul>

施設 所 管 課 の 総 評	平成 22 年 8 月 26 日評価通知済
開園以来、初めて全区画の利用が達成され、平成 22 年度も引続き全区画の利用が決定している。今後も利用者の満足度を高めるような運営内容の充実に努め、利用率 100%を維持していくこと。 施設及び備品の修繕は、老朽化に伴う大規模修繕を避けるため、計画的に施設の点検を行い、優先順位を付けて取り組むこと。	



施設 の 名 称	施設 所 管 課
⑩笠間クラインガルテン (1)農産物販売所 (2)そば処 (3)その他付随する施設	農政課（農政企画室）
	指 定 管 理 者 茨城中央農業協同組合（非公募）
設 置 目 的	指 定 期 間
地域住民と観光農業の振興及び市民と都市住民との交流を図ること。	平成21年4月1日から平成23年3月31日まで (平成18年3月1日から導入開始)

運営状況【有効活用について】				指定管理者の事業収支【効率的運営について】			
区 分	20年度	21年度	前年度比	区 分	20年度	21年度	前年度比
			増減率 (%)		金 額 (円)	金 額 (円)	増減額 (円)
延利用者数	46,132人 (1日平均147人)	48,093人 (1日平均155人)	4.3	(収入)			
				指定管理料	0	0	0
				販売額等	47,068,159	53,149,581	6,081,422
				収入計	47,068,159	53,149,581	6,081,422
				(支出)			
				管理運営経費	49,011,638	54,678,909	5,667,271
				支出計	49,011,638	54,678,909	5,667,271
				収 支	△1,943,479	△1,529,328	414,151
				※利用料金制度導入			

指定管理者の事業実績・自己評価【活動状況について】
<p>&lt;農産物販売所&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・JA管内直売所との連携及び市場仕入れの充実を図った。</li> <li>・感謝祭(特売イベント)の開催を増やし(4, 6, 7, 9, 10, 11月), 集客促進を図った。</li> <li>・客の出入りを良くするため, 店舗内のレイアウトを改善した。</li> <li>・農協観光との連携による農業体験を開催した。(タケノコ狩り・ジャム作り・ブルーベリー狩り, リンゴ狩り)</li> </ul> <p>&lt;そば処&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4月から11月まで営業時間の延長を実施した。</li> <li>・笠間観光協会と連携し「笠間発見伝・そば打ち体験」の受入れを開始した。</li> </ul>

利用者の声【利用者の評価について】
<p>&lt;農産物販売所&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・品揃えが不十分である。 ⇒JA他店舗の直売所及び市場仕入れにより, 品揃えの充実に取り組んだ。</li> <li>・商品陳列棚が高く, 取りづらい。 ⇒陳列棚はそのままとし, 商品の配置換え・ポップ類の充実により見やすい長品陳列に取り組んだ。</li> <li>・農産物販売所とそば処の間の行き来が悪い。 ⇒陳列棚の配置を換え, 今まで締め切っていた東側出入口を開放し, そば処間の通りを改善した。</li> </ul> <p>&lt;そば処&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入店の際, 接客が悪い。 ⇒スタッフの職場内教育を徹底した。</li> <li>・メニューが少ない。 ⇒「蕎麦いなり」などサイドメニューを増やした。</li> </ul>

施設 所 管 課 の 総 評	平成22年8月26日評価通知済
<p>農産物販売所, そば処とも前年度に比べ売り上げが増加し, 収支にも改善が見られる。感謝祭イベントを年間6回開催し, 積極的に集客に取り組んでいる。さらに, 農協観光による農業体験を充実させるほか, 新たに笠間観光協会の観光ツアー(そば打ち体験)を取り入れるなど, 外部観光関連団体と連携したPRにも力を入れている。今後も経営改善に向け集客力の拡大・満足度の向上を図っていくこと。</p>	



施設 の 名 称		施設 所 管 課	
⑪笠間工芸の丘		商工観光課	
		指 定 管 理 者	
		笠間工芸の丘（株）（非公募）	
設 置 目 的		指 定 期 間	
地域住民及び観光レクリエーションの振興に資すること。		平成 18 年 3 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日まで （平成 18 年 3 月 1 日から導入開始）	

運営状況【有効活用について】				指定管理者の事業収支【効率的運営について】				
区 分	20 年度	21 年度	前年度比	区 分	20 年度	21 年度	前年度比	
			増減率 (%)		金 額 (円)	金 額 (円)	増減額 (円)	増減率 (%)
延利用者数	235,000 人 (1日平均761人)	234,950 人 (1日平均760人)	△0.02	(収入)				
				指定管理料	9,500,000	9,500,000	0	0.0
				売 上 高	235,434,996	238,431,402	2,996,406	1.3
				収 入 計	244,934,996	247,931,402	2,996,406	1.2
				(支出)				
				管理運営経費	244,459,609	243,243,205	△1,216,404	△0.5
				支 出 計	244,459,609	243,243,205	△1,216,404	△0.5
				収 支	475,387	4,688,197	4,212,810	886.2
※利用料金制度導入								

指定管理者の事業実績・自己評価【活動状況について】
<ul style="list-style-type: none"> <li>・笠間市が目指す「住みよいまち、訪れてよいまち笠間～みんなで創る 文化交流都市～」の中核施設として、地場産業の観光と振興を目指し、地域の繁栄に貢献し、お客様の期待にも応えられることを目標に、積極的な情報発信と営業活動を展開した。</li> <li>・北関東自動車道が東北自動車道と接続したことから、栃木・群馬方面の営業活動を展開した。</li> <li>・工芸品を中心とした地場製品の取扱いが高いことから、高額商品の動きが依然として低迷している中、お客様ニーズに応えられる商品構成と独自の品揃え、話題作家の企画展を開催した。</li> <li>・新聞・雑誌への宣伝やホームページの活用、学校・福祉施設への出張陶芸体験の取組みや県内の小学校・幼稚園・保育所への案内状送付など、利用者拡大に努めた。</li> </ul>

利用者の声【利用者の評価について】
<ul style="list-style-type: none"> <li>・要望及び苦情等は、ファックス及びメールなどで対応している。</li> <li>・耐用年数の過ぎた照明設備をLED照明に変更し、省エネを推進するための照明設備改善の要望あり。 ⇒平成 22 年度「地域活性化・きめ細やかな臨時交付金」を活用し改修予定である。</li> </ul>

施設 所 管 課 の 総 評	平成 22 年 7 月 28 日評価通知済
<p>笠間焼の販売が低迷する中、話題作家の企画展を開催するなど笠間焼の振興に寄与した。 また、植栽管理を指定管理の一環として実施（H20 年度～）したことで、行き届いた管理ができた。</p>	

施設 の 名 称	施設 所 管 課
⑫笠間市営笠間駅北口自転車駐車場	市民活動課
⑬笠間駅北口駐車場	
	指 定 管 理 者
	(社) 笠間観光協会 (非公募)
設 置 目 的	指 定 期 間
①駅周辺の環境整備を図るとともに、自転車利用者の利便に資すること。 ②市民及び観光客の利便に資すること。	平成 19 年 4 月 1 日から平成 22 年 3 月 31 日まで (平成 19 年 4 月 1 日から導入開始)

運営状況【有効活用について】				指定管理者の事業収支【効率的運営について】				
区 分	20 年度	21 年度	前年度比	区 分	20 年度	21 年度	前年度比	
			増減率 (%)		金 額 (円)	金 額 (円)	増減額 (円)	増減率 (%)
利用台数				(収入)				
自動車				指定管理料	2,908,500	2,908,500	0	0.0
月極(延)	577 台	547 台	△5.2	収 入 計	2,908,500	2,908,500	0	0.0
一 時	4,112 台	3,673 台	△10.7	(支出)				
自転車				管理運営経費	2,908,500	2,908,500	0	0.0
月極(延)	2,036 台	1,927 台	△5.4	支 出 計	2,908,500	2,908,500	0	0.0
一 時	6,881 台	7,047 台	2.4	収 支	0	0	0	0.0
オートバイ				市の収支 (利用料金制度未導入より利用料は市の収入)				
月極(延)	94 台	79 台	△16.0	(収入)				
一 時	383 台	332 台	△13.3	利 用 料	8,526,850	8,001,000	△525,850	△6.2
				(支出)				
				指定管理料	2,908,500	2,908,500	0	0.0
				収 支	5,618,350	5,092,500	△525,850	△9.4

指定管理者の事業実績・自己評価【活動状況について】
指定管理に関する協定に基づき業務を適正に行った。

利用者の声【利用者の評価について】
係員が常駐して利用者からの声を聞く態勢は整えているが、苦情、要望については特になし。

施設 所 管 課 の 総 評	平成 22 年 4 月 28 日評価通知済
業務内容に基づき適正に業務を遂行している。	

施設 の 名 称	施設 所 管 課
⑭笠間市営稲田駅前自転車駐車場 ⑮稲田駅前駐車場 ⑯福原駅前駐車場	市民活動課
	指 定 管 理 者
	J R O B 会 (非公募)
設 置 目 的	指 定 期 間
③駅周辺の環境整備を図るとともに、自転車利用者の利便に資すること。 ④⑤市民及び観光客の利便に資すること。	平成 19 年 4 月 1 日から平成 22 年 3 月 31 日まで (平成 19 年 4 月 1 日から導入開始)

運営状況【有効活用について】				指定管理者の事業収支【効率的運営について】					
区 分	20 年度	21 年度	前年度比	区 分	20 年度	21 年度	前年度比		
			増減率 (%)		金 額 (円)	金 額 (円)	増減額 (円)	増減率 (%)	
利用台数 【稲田駅】 自動車	月極(延)	149 台	122 台	△18.1	(収入)				
	一 時	2,519 台	2,890 台	14.7	指定管理料	2,866,500	2,866,500	0	0.0
自転車	月極(延)	269 台	187 台	△30.5	収 入 計	2,866,500	2,866,500	0	0.0
	一 時	1,182 台	914 台	△22.7	(支出)				
オートバイ	月極(延)	18 台	19 台	5.6	管理運営経費	2,866,500	2,866,500	0	0.0
	一 時	194 台	70 台	△63.9	支 出 計	2,866,500	2,866,500	0	0.0
【福原駅】 自動車	月極(延)	88 台	82 台	△6.8	収 支	0	0	0	0.0
	一 時	5,192 台	4,843 台	△6.7	市の収支 (利用料金制度未導入より利用料は市の収入)				
				(収入)					
				利 用 料	3,117,090	2,862,070	△255,020	△8.9	
				(支出)					
				指定管理料	2,866,500	2,866,500	0	0.0	
				収 支	250,590	△4,430	△255,020	△101.8	

#### 指定管理者の事業実績・自己評価【活動状況について】

指定管理に関する協定に基づき業務を適正に行った。

#### 利用者の声【利用者の評価について】

係員が常駐して利用者からの声を聞く態勢は整えているが、苦情、要望については特になし。

#### 施設所管課の総評

平成 22 年 4 月 28 日評価通知済

業務内容に基づき適正に業務を遂行している。

施設 の 名 称	施設 所 管 課
⑰笠間市障害福祉センターともべ	社会福祉課
	指 定 管 理 者
	(社)笠間市社会福祉協議会 (非公募)
設 置 目 的	指 定 期 間
市内に居住する心身障害者社会参加を図ること。	平成 20 年 4 月 1 日から平成 25 年 3 月 31 日まで (平成 18 年 9 月 1 日から導入開始)

運営状況【有効活用について】				指定管理者の事業収支【効率的運営について】				
区 分	20 年度	21 年度	前年度比 増減率 (%)	区 分	20 年度	21 年度	前年度比	
					金 額 (円)	金 額 (円)	増減額 (円)	増減率 (%)
利用者数 (年度末現在)	21 人	20 人	△4.8	(収入)				
延利用者数	3,885 人	3,674 人	△5.4	指定管理料	19,195,256	18,163,800	△1,031,456	△5.4
				参 加 費	51,600	38,400	△13,200	△25.6
				収 入 計	19,246,856	18,202,200	△1,044,656	△5.4
				(支出)				
				管理運営経費	19,246,856	18,202,200	△1,044,656	△5.4
				支 出 計	19,246,856	18,202,200	△1,044,656	△5.4
				収 支	0	0	0	

指定管理者の事業実績・自己評価【活動状況について】
<ul style="list-style-type: none"> <li>年間を通して継続的な作業訓練ができるように、作業の依頼者を探すことが必要である。</li> <li>作業訓練(空き缶回収、珍味梱包作業、100円ショップ品梱包、チラシ袋入れ、クッキー・野菜・花壇作り等)を障害レベルに応じた流れ作業で実施した。</li> <li>生活訓練(日直・清掃当番、調理実習、買い物学習、野外研修、習字、生花、茶道、陶芸、ミュージックケア等)を日々の繰り返しにより実施した。</li> <li>行事、レクリエーション(各種団体との交流会、ふれあい親子旅行、果物狩り、味噌作り、市の行事参加等)を行い、季節感のある行事と地域交流をとおり社会性を高めた。</li> <li>健康指導(住民健診、保健師・栄養士指導、体操等)を行った。</li> </ul>

利用者の声【利用者の評価について】
<ul style="list-style-type: none"> <li>訓練に対し、できないことを諦めないで積極的に取り組む姿勢を指導してほしい。 ⇒極力通所者本人にできそうな作業を探し、取り組めるように努力した。</li> </ul>

施設 所 管 課 の 総 評	平成 22 年 5 月 14 日評価通知済
<p>障害者の社会参加の場所として、生活訓練・生産活動などを行う福祉的就労の場として、実績がある。通所している障害者に対し相談などの支援も行い、障害者の生活支援を支えていくうえで、重要な役割を果たしている。</p> <p>作業訓練を行っているが、近年の不況により、依頼される作業が減少しているため、作業提供者の確保が今後の課題となってくる。</p> <p>業務実績に基づき指定管理料の減額協定をするなど、経費の削減にも努めている。</p> <p>福祉的就業の場及び障害者の日中支援の場として重要な役割を果たしている。福祉施策のため、利用料は無料で実施し、少ない工賃収入のみで行っているため、利益増加や指定管理料の削減など困難な点が多いが、継続の必要性がある。</p>	

施設 の 名 称	施設 所 管 課
⑱笠間市地域福祉センター 「笠間市友部社会福祉会館」	社会福祉課
	指 定 管 理 者
	(社)笠間市社会福祉協議会 (公募)
設 置 目 的	指 定 期 間
地域における福祉活動の拠点として、地域住民の福祉ニーズに応じた活動、福祉情報の提供等を総合的に行い、地域住民の福祉の増進及び福祉意識の高揚を図ること。	平成20年4月1日から平成25年3月31日まで (平成18年9月1日から導入開始)

運営状況【有効活用について】				指定管理者の事業収支【効率的運営について】				
区 分	20年度	21年度	前年度比 増減率 (%)	区 分	20年度	21年度	前年度比	
					金 額 (円)	金 額 (円)	増減額 (円)	増減率 (%)
延利用者数	27,269人 (1日平均79人)	27,872人 (1日平均81人)	2.2	(収入)				
				指定管理料	18,637,000	23,371,000	4,734,000	25.4
				収 入 計	18,637,000	23,371,000	4,734,000	25.4
				(支出)				
				管理運営経費	18,637,000	23,371,000	4,734,000	25.4
				支 出 計	18,637,000	23,371,000	4,734,000	25.4
				収 支	0	0	0	0
					※19年度収入支出はそれぞれ24,478,000円 ※20年度は職員退職のため人員が少ない状況であった。			

指定管理者の事業実績・自己評価【活動状況について】
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の福祉活動の拠点として、多くの方に利用されている。</li> <li>・会館がいつも安全に、快適に利用できるよう保守に努めている。</li> </ul>

利用者の声【利用者の評価について】
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自動販売機を設置してほしい。</li> <li>⇒設置を検討する。</li> </ul>

施設 所 管 課 の 総 評	平成22年5月14日評価通知済
<p>今後も福祉活動の拠点として、利用される市民の方々の安全面や環境面を考慮し、効率的な運営を確保していくこと。</p> <p>不審者に対してのマニュアルが作成されていないので、作成すること。</p> <p>利用者へのアンケート調査の実施方法を見直し、利用者の声を聞いて管理運営をしていくこと。</p>	

施設 の 名 称	施設 所 管 課
⑱笠間市障害者福祉センターいわま	岩間支所福祉課
	指 定 管 理 者
	(社)笠間市社会福祉協議会 (非公募)
設 置 目 的	指 定 期 間
障害者の生活訓練, 作業訓練, 機能訓練, 相談事業を通し, 将来に向けて障害者の就労意欲の向上及び社会参加の促進に寄与すること。	平成 20 年 4 月 1 日から平成 25 年 3 月 31 日まで (平成 18 年 9 月 1 日から導入開始)

運営状況【有効活用について】				指定管理者の事業収支【効率的運営について】				
区 分	20 年度	21 年度	前年度比	区 分	20 年度	21 年度	前年度比	
			増減率 (%)		金 額 (円)	金 額 (円)	増減額 (円)	増減率 (%)
利用者数 (年度末現在)	7 人	7 人	0.0	(収入)				
延利用者数	1,949 人	1,146 人	△41.2	指定管理料	6,665,114	5,667,643	△997,471	△15.0
				収 入 計	6,665,114	5,667,643	△997,471	△15.0
				(支出)				
				管理運営経費	6,665,114	5,667,643	△997,471	△15.0
				支 出 計	6,665,114	5,667,643	△997,471	△15.0
				収 支	0	0	0	
				※平成 21 年度は職員の育児休業に伴い欠員が出ている (欠員は社協職員やボランティアで対応)				

指定管理者の事業実績・自己評価【活動状況について】
<ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅障害者の通所があり, 社会参加と生活のリズム作りに役立っている。</li> <li>・通所者 1 名が茨城福祉工場 (就労継続支援事業所) に通所することができた。</li> <li>・作業訓練(商品梱包, 空き缶回収, 電機部品の組み立て作業, プラスチック製品のバリ取り, 野菜・花壇作り等)を実施した。</li> <li>・生活訓練(日直当番, 清掃, 調理実習, 買い物学習, 屋外研修, ムーブメント等)を実施した。</li> <li>・行事, レクリエーション(交流会, スポーツレクリエーション, 映画鑑賞, 忘年会, ミュージックケア, 果物狩り, 市の行事参加等)を実施した。</li> </ul>

利用者の声【利用者の評価について】
<ul style="list-style-type: none"> <li>・作業所内の空気の循環をよくするため天井扇を設置してほしい。</li> <li>・作業所内に車椅子用のシンクがあるものの車椅子がぶつかり使用できない。 ⇒状況を見て検討していく。</li> </ul>

施設 所 管 課 の 総 評	平成 22 年 8 月 11 日評価通知済
<p>通所者 1 名が茨城福祉工場 (就労継続支援事業所) に通所することができたことは, 訓練の成果として評価できる。</p> <p>通所することで, ひきこもりの防止や日常生活の改善が見込まれ, 社会参加に向けた訓練となるので, 今後も引き続き成果を出していくこと。</p>	



<b>施設 の 名 称</b>	<b>施設 所 管 課</b>
⑳笠間市福祉センター「いわま」	岩間支所福祉課
	<b>指 定 管 理 者</b>
	(社)笠間市社会福祉協議会 (公募)
<b>設 置 目 的</b>	<b>指 定 期 間</b>
高齢者の各種相談に応ずると共に健康の増進教養の向上及びレクリエーション等の便宜を総合的に供与し、健康で明るい生活を営ませ、伴わせて地域福祉の向上を図ること。	平成 20 年 4 月 1 日から平成 25 年 3 月 31 日まで (平成 18 年 9 月 1 日から導入開始)

運営状況【有効活用について】				指定管理者の事業収支【効率的運営について】				
区 分	20 年度	21 年度	前年度比 増減率 (%)	区 分	20 年度	21 年度	前年度比	
					金 額 (円)	金 額 (円)	増減額 (円)	増減率 (%)
延利用者数	6,432 人 (1日平均 29 人)	6,016 人 (1日平均 26 人)	△6.5	(収入)				
				指定管理料	10,546,000	10,208,183	△337,817	△3.2
				利用料等	1,167,056	1,088,602	△78,454	△6.7
				収 入 計	11,713,056	11,296,785	△416,271	△3.6
				(支出)				
				管理運営経費	11,713,056	11,296,785	△416,271	△3.6
				支 出 計	11,713,056	11,296,785	△416,271	△3.6
				収 支	0	0	0	
※利用料金制度導入								

指定管理者の事業実績・自己評価【活動状況について】
<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的に利用していたクラブの利用がなくなり、利用者数が減少した。</li> <li>・入院や死亡、親族との同居等により、配食サービスの利用者が減少した。</li> <li>・介護認定や入院、死亡及び地区内高齢者クラブの行事との重複による欠席により、いきいき通所事業の利用者が減少した。</li> </ul>

利用者の声【利用者の評価について】
<ul style="list-style-type: none"> <li>・浴槽内のタイルと目地がはがれている。 ⇒その都度補修剤で修理している。</li> <li>・一般開放日のPR及び昼食の斡旋、提供を行ってほしい。 ⇒一般開放日の昼食提供については、現在検討中。利用者増につながるように調整していく。</li> </ul>

施設 所 管 課 の 総 評	平成 22 年 8 月 11 日評価通知済
<p>平成 20 年度から 2 年間にわたり、大学の落語研究会による落語会を開催し、好評を得ているので、次年度も活用していくとよい。</p> <p>介護予防の増進のために、引続き事業を進めていくこと。</p>	